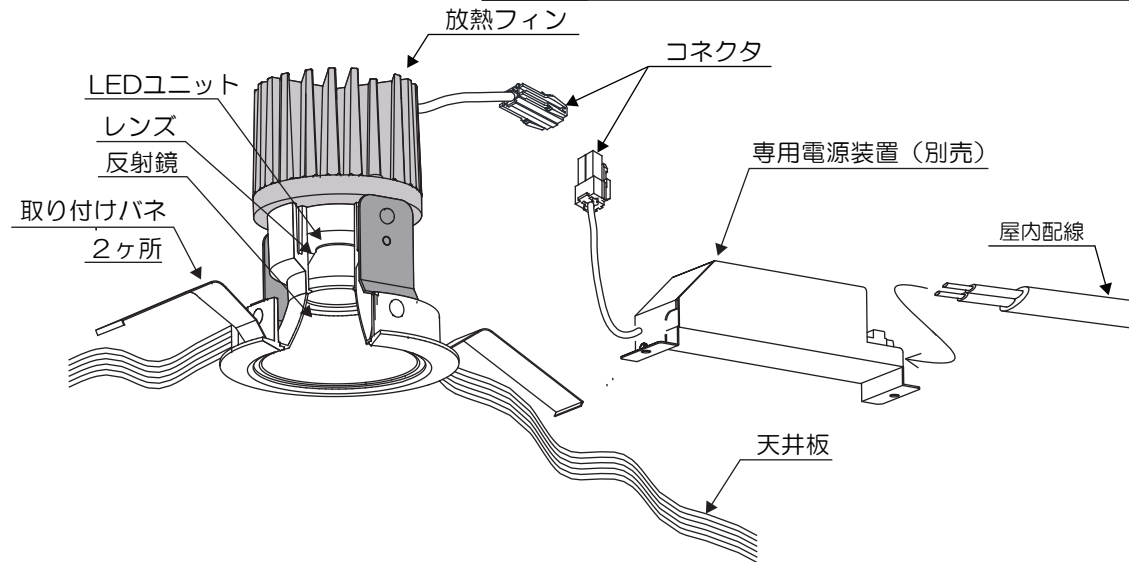


各部のなまえと取付けかた

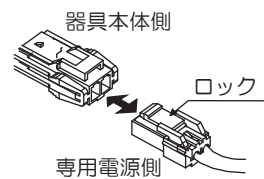
(図は器具を省略、抽象化したものです)

⚠ 注意

必ず、電源が切っており、作業を開始してください。

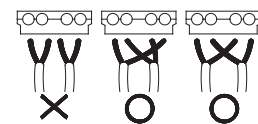
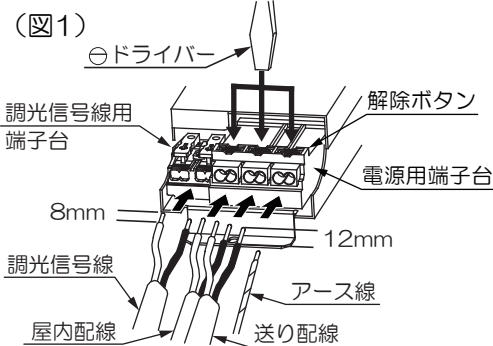


■コネクタについて

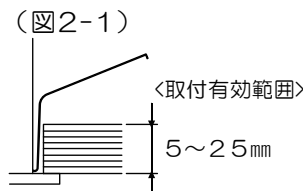


コネクタはロックがかかるまで確実に差し込んでください。はずす時はロックを上から押して、解除して引き抜いてください。
※器具本体と専用電源装置（別売）を接続するときは、専用電源装置（別売）の入力電源がオフであることを確認してください。また、器具本体と専用電源装置（別売）を接続してから、専用電源装置（別売）の入力電源を投入しないと、**LEDおよび専用電源装置（別売）が破損するおそれがあります。**

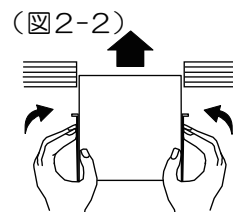
- 取付まへの確認をする
取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにします。不備がありますと**器具落下の原因**となります。
また、取付工事を開始する前に、屋内配線への電源を必ず切っておいてください。不備がありますと**感電・不点灯・器具破損の原因**となります。
- 切込寸法に従って天井に切込穴をあける
4ページの「定格表」を参考に天井に切込穴をあけます。切込寸法公差は、 $+2, -0\text{mm}$ としてください。必要に応じて天井切込穴の周りに野縁を組込んでください。不備がありますと**器具落下の原因**となります。
- 器具本体と専用電源装置（別売）を結線する
器具上面にあるコネクタと専用電源装置（別売）のコネクタを接続して、確実に結線します。不備がありますと**不点灯の原因**となります。
- 屋内配線、調光用信号線およびアース線を端子台に接続する（図1）
屋内配線およびアース線の被覆を**12mm**、調光用信号線を**8mm**むいて、専用電源装置（別売）上の速結端子台の差込穴に確実に差し込みます。端子台の送り容量を超えるなど、不備がありますと**火災・感電の原因**となります。
また器具本体に屋内配線を接触させないでください。不備がありますと**不点灯の原因**となります。
※入力電圧が200V時および調光使用時にはアース線の接続が必要になります。
- 器具本体を取り付ける（図2）
専用電源装置（別売）、器具本体の順に切込穴に入れ、の取り付けパネで確実に固定します。不備がありますと**器具落下の原因**となります。
なお、被照射面限度距離に関しては4ページの定格表をご覧ください。不備がありますと**火災の原因**となります。



■屋内配線・送り配線の被覆をむいて、矢印の方向に止まるまでぐっと差し込んだ後、引っ張ってみて抜けないことを確認してください。外すときは、解除ボタンを○ドライバー等で押込んで外して下さい。



取付有効範囲は、指定寸法までです。取付前に確認してください。不備がありますと、**器具落下の原因**となります。



取り付けパネを本体に沿わせながら、天井にしっかりと固定します。不備がありますと、**器具落下の原因**となります。

調光について

- 調光範囲は5%～100%です。
- 調光用コントローラは、専用のものをご使用ください。
- 調光用コントローラによっては下限値で光がちらつくことがあります。下限設定可能な調光用コントローラをご使用ください。詳細についてはお問い合わせください。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警告	
⚠	火災のおそれがあります ◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。 また揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。 ◇器具と被照射面との距離は指定距離より近くで使用しないでください。 ◇断熱材・防音材で覆わないでください。
⚠	やけどのおそれがあります ◇点灯中および消灯直後のLEDユニットにさわらないでください。
⚠	感電・火災のおそれがあります ◇器具及び部品の改造をしないでください。 ◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。
⚠	感電・火災のおそれがあります ◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする等）には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談ください。
⚠	感電のおそれがあります ◇器具のお手入れの際には必ず電源を切ってください。

⚠ 注意

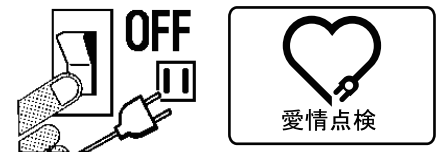
- ◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検してください。器具の**ネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないか**をお調べください。
- ◇3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。
- ◇照明器具には寿命があります。設置後およそ8～10年経過しますと外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。必ず点検・交換をしてください。
- 点検せずに長時間使い続けると、**感電・火災・発熱・性能劣化のおそれがあります。**（使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯。JISC8105-1解説による）
- ◇周囲温度が高い場合、連続点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- ◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。
- 器具の変形や火災の原因**となることがあります。
- ◇LEDの光色・明るさには若干の個体差があります。あらかじめご了承ください。
- ◇この器具のLEDユニットの交換は、**修理扱い**になります。
- 詳しくは、この器具をお求めの電気店・最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。
- ◇無理に器具を分解して一般のLED素子と交換しないでください。**火災・発熱・器具破損の原因**になります。

保守とお手入れ

⚠ 注意

必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

- LEDランプユニットの寿命は、約40,000時間です。推奨寿命はLEDの照度が初期値の70%に減退するのにかかる時間です。寿命を越えても点灯し続けますが、十分な性能が得られませんので、新たな器具の施工をお勧めいたします。



愛情点検

お願い

- ◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。
- 汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よく絞ってふき取り、乾いたらやわらかい布で仕上げてください。
- ◇ぬれた手で器具に触らないでください。**感電するおそれがあります。**
- ◇点灯中及び消灯直後のLEDユニット周辺に触らないでください。**やけどをするおそれがあります。**

